

山脇ゼミの紹介

- テーマ: 多文化共生のまちづくり
- 特徴1: 実践志向
- 特徴2: 地域密着
- 特徴3: 社会連携
- 3年と4年の協働
- 募集人員: 約15名

山脇ゼミで身につく力

- 多文化共生に関する知識・技能・態度
- ファシリテーション力
- コミュニケーション力
- プrezentation力

これまでのゼミ生数

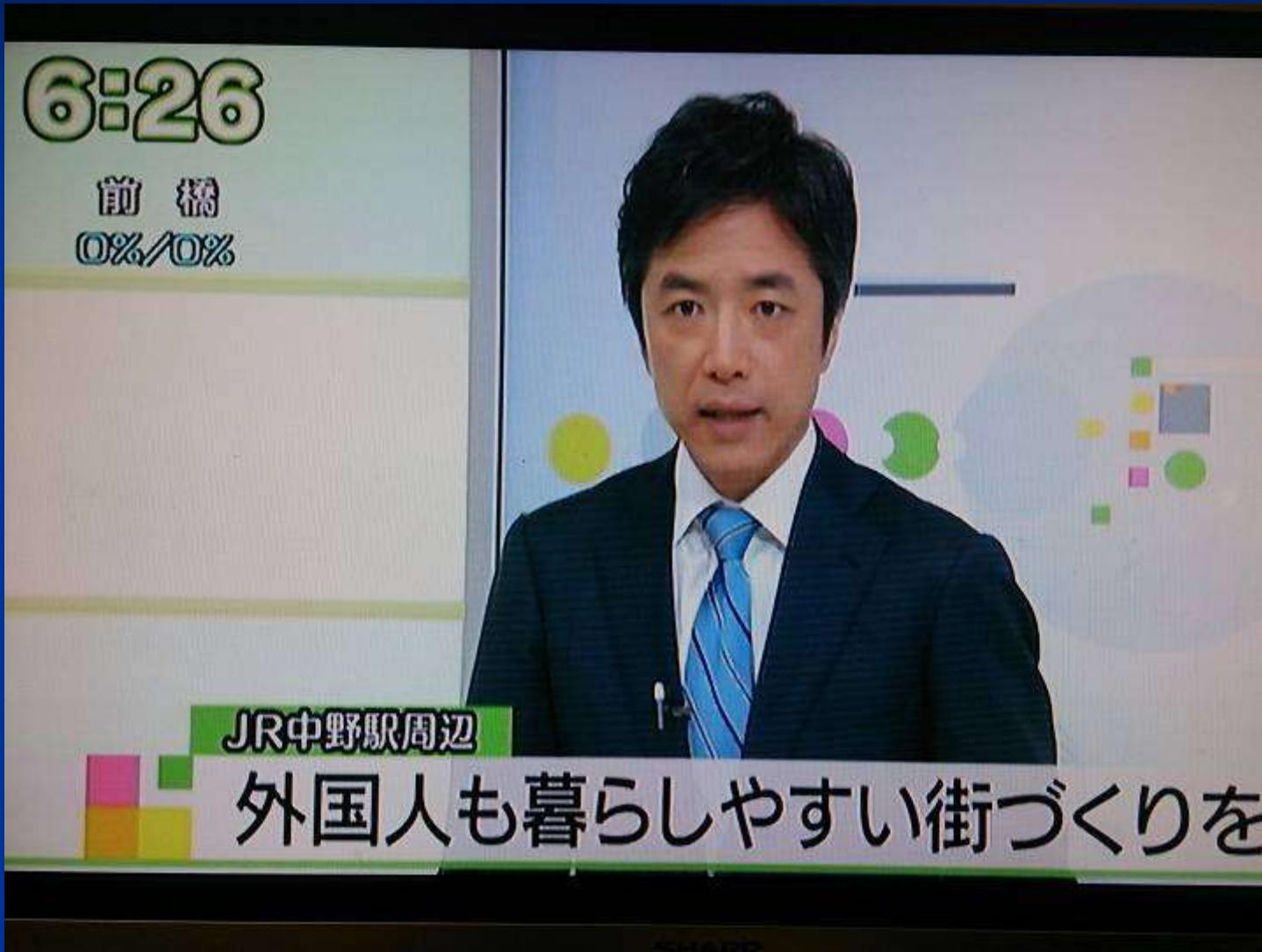
- 11期生(2020-2021):14名(留学生1名)
- 12期生(2021-2022):16名(留学生1名)
- 13期生(2022-2023):17名(留学生1名)
- 14期生(2023-2024):17名(留学生2名)
- 15期生(2024-2025):16名(留学生3名)
- 16期生(2025-2026):10名

主な活動実績

- なかの多文化共生フォーラム(2013-)や中野区長と留学生の懇談会の開催(2014-)によって、中野区に多文化共生の政策提言
- NHK、朝日新聞、中日新聞が報道



NHK朝のニュース(2013/12)



朝日新聞朝刊(2013/12)



NHK朝のニュース(2014/4)



読売新聞夕刊(2014/5)



朝日新聞朝刊(2014/11)

朝日新聞 2014年11月23日 朝刊 33ページ 東京西部

外国人と共生する街 考える

明大でフォーラム



新宿区と墨田区での調査結果を中野区と比較して発表する大学2年生たち

外国人も日本人も共に住みやすい街づくりを考える「多文化共生フォーラム」が22日、中野区の明治大学中野キャンバスであった。国や都の外国人施策について発信している同大国際日本学部、山脇啓造教授のゼミ生が企画した。

2年生の学生チームは、中野区在住の外国人家庭の子どもの教育問題に的を絞った。外国人比率が東京が高い新宿区や、外国籍の子どもへの日本語教育システムが進んでいる墨田区などを調べ、中野区の現状と比較した。田中大輔(中野区長)もパネリストに加わり、学生らの意見に耳を傾けた。

日本に住む外国人の子どもに日本語を教えるボランティアチームを学内に立ち上げた2年生の山口史帆さん(20)は「彼らは日本語を身につければバイリンガル。母国と日本とを比較して考える力もあり、グローバルな人材の育成だ。日本のグローバル化を牽引する存在になる」と指摘。「そのためにも地域と学校、行政が一体となって、彼らの日本語教育に予算と力をさいてほしい」と呼びかけた。山脇教授は「外国人の子

どもたちの教育はもちろんなどの面で外国人が暮らしやすい街は日本人も暮らしやすい。国際的企業を誘致してグローバルな活動拠点を目指す中野区も今が変わることを指す「チャンス」と話している。

(森脇智子)

毎日新聞朝刊(2014/11)

(第3種郵便物認可)

毎日



フェイスブック <https://www.facebook.com/campal.mainichi>
メール campal@mainichi.co.jp

これは同大国際日本学部山脇ゼミが昨年から行っている「なかの多文化共生プロジェクト」の一環。東京都中野区は近年、大学キャンパスの新設で外国人留学生が急増。同区の多文化共生・グローバル化の推進を目指し、多文化共生専門の山脇監修教授の指導のもと学生が主体的に日々活動している。

明治大「なかの多文化共生フォーラム」

フォーラムには、学生や区、学校関係者ら約100人が参加。第一部でゼミ生の講演に基づき多文化共生の見地から、現

在の中野の現状とその解決策を、田中大輔・中野区長に提言した。第2部では区長や区立中学校長、国際交流協会関係者を交えたパネル討論が行われた。プロジェクト発足時から携わる寺間成明さん(4年)は「地域社会の理解と協力が不可欠な多文化共生について意識から変えていくため



6年後の東京オリンピック開催を控えた今、外国人観光客数は史上最多の1・100万人を突破。東京を世界に開かれた都市にする最高のチャンスだ。外国人にも住みやすい生活環境を整備するだけでなく、彼らの力を地域に生かしていくことを手を取り合って共に生きていく。こうした多文化共生を目指す「なかの多文化共生フォーラム」が22日、今年スリバーゲローバル大学に採択された明治大学中野キャンパスで行われた。

【橋大・大石真梨子、写真も】

子育て 大学内保育園



閑静なキャンパス内を散歩する
=津田塾大で、一橋大・藤谷大

京都小平市)の「さくらんぼ保育所」は、開設から30年以上の歴史がある。大学運営の保育施設だ。広々としたグラウンドに隣接する建物からは、元気な子供たちの声が聞こえてくる。定員は12人で、現在の利用者は学部生1

読売新聞朝刊(2017/3)

外国人の家探し応援



ウェブサイトの中身について
話し合う明治大的学生たち

明大生がウェブサイト

中野区に住む外国人の家探しを応援しようと、明治大学の学生たちが先月、英語対応が可能な不動産会社などを紹介するウェブサイト「Living Together in Nakano」を作成した。

中野

調査対応が可能かどうかなどをマークで記して、一目で分かる店舗リストも作成。外国人住民が自分の要望に合った不動産会社を見つけるやすいようにしている。

同ゼミ4年の平林歩さん(22)は「中野区も外国人が増えているので、たくさんの人々にサイトを見てもらいたい」と話す。英語で対応してもらえなかつたり、保証人がい、お互いの理解が進み、探しづらかったりする外国人ならではの課題のほか、「住みやすい街になつてしまい」と話した。

サイトのURLはhttp://jyamawakiseminar.wesite.com/mystic。英語のほかにも、中国語、韓国語、ベトナム語にも対応している。

文化の違い分かりやすく

中野区に住む外国人の家探しを応援しようと、明治大学の学生たちが先月、英語対応が可能な不動産会社などを紹介するウェブサイト「Living Together in Nakano」を作成した。

中野区にキャンパスを離く明大生約10人。多文化共生を学ぶゼミに所属しており、外国人が日本での住まい探しや、入居後も、み出しのルールなどに苦労していることには着目した。

学生たちは昨年9、6月

に区内の不動産会社や、外国人住民にインタビュー調査を実施。不動産会社に行つた際、英語で対応してもらえなかつたり、保証人がい、お互いの理解が進み、探しづらかったりする外国人ならではの課題のほか、「住みやすい街になつてしまい」と話した。

不動産会社側からは「み出しゃ騒音、敷金・礼金のルールを理解してもらえないなどの意見が出た」という。同9月には不動産会社と外国人住民を交えた意見交換会も行い、中野区に住む外国人約1万5800人(今年3月現在)について役に立つウェブサイト作りに取りかかった。

日本人向けのページも作り、海外の生活習慣や住宅事情を紹介し、文化が違うことを説明。外国人向けでは、敷金・礼金やまた貸しの禁止、退去時のマナーなど日本の賃貸住宅の事情がわかりやすく書かれている。

区内の不動産会社で多言

世田谷区条例

同性カップル

同性カップルの区営住宅入居を認めるため、世田谷区が2月議会に提案した条例改正案が、審議審査となる見通しになつた。審査を付託された都市整備常任委員会が22日、区民への周知不足などを理由に採決を見

サンデー毎日(2019/8/18-25)

皆がより研究テーマが面白い!
ゼミナール・ラブ!
Seminar Love

現代の最先端! いやいやマニアックなだけじょ! ?
ももあれ、狭い概念のむどユニークやエモワイヤディングな
ことだけは強がな、知られざる大学の研究室を紹介します。

URL: <http://seminar-love.com> (リンク) (著作権)

明治大学
国際日本学部
山脇啓造ゼミ

地元と連携し「多文化共生」を実践



研究テーマ

外国人が若く、グローバル化が進む日本社会で「多文化共生」のまちづくりをテーマに、その道徳を学び実践に取り組む。
地域密着型の実践ゼミでは、2013年のキャンパス開拓以来、研究中野区を中心に行姫、企画などと連携して研究研究やイベント活動を実施している。

昨年12月に「改正入管法」
今年の4月に「日本研究者推進法」
が成立、異文化理解や多文化共生が急務となり、国際教養学部の関心が高まっている。
中野区は既に多くの外国人増加率が高く、区民がキャンパスでの留学生・教員などに馴染みに恵まれるほど、大学との連携に熱心。
学生約2割が世界中からやつてきた留学生。「日本人ゼミ生も半数は留学生を経験して、インバーナイト体験をしている」と山脇教授。
多文化共生活動や中野教養
り上げている山脇ゼミでは、昨年から中野区の商店街で、女性向けにやさしい日本語ワークショップなどを実施。秋には外国人多居合した地元住民の懇親会を開催している。

<http://www.mis.mis.mis.ac.jp/seminar-love/seminar-love.html>

中野区報(2020/2/15)

中華民族書院

なかの多文化共生フォーラム (2013-)



中野区長と留学生の懇談会 (2014-)



東京都主催 プレゼンコンテスト (2015-)



子ども向けワークショップ (2017-)

- 世田谷区
- 中野区
- 杉並区
- 横浜市



大人向けワークショップ (自治体職員、学校教員、企業社員) (2018-)

- 鷺宮商店街
- 丸井社員
- 豊島区職員
- 中野区職員
- 厚木市教員
- 横浜市教員
- GTN



動画制作(2019-)

「やさしい せかい」

- 2021年9月30日公開
- 制作: やさしい日本語ツーリズム研究会
- 歌・出演: 山脇ゼミ他
- 再生回数 7万回



ぐんま多文化共生ムービー

- 群馬県庁による委託
- 2023年9月13日公開
- 制作: 山脇ゼミ
- 歌・出演: 山脇ゼミ
- 28秒



海外合宿

- 6期生:台灣(2015/9)
- 7期生:韓国(2016/8)
- 8期生:オランダ(2017/9)
- 9期生:オーストラリア(2018/8)
- 10期生:オーストラリア(2019/8)
- 13期生:韓国(2022/10)
- 13/14期生:台灣(2023/9)
- 15期生:オーストラリア(2024/11)
- 15/16期生:韓国(2025/9)



2026年度の計画(1)

- 春合宿(4/18-19)山中セミナーハウス
- 小学生向けワークショップ@神泉和泉(6月)
- なかの生涯学習大学との合同ゼミ(6月)
- 中野区長と留学生の懇談会(7月)
- 中野区職員やさ日ワークショップ(7, 10月)
- 高校生サマースクール(8月)
- オープンキャンパス(8月)

2026年度の計画(2)

- 横浜市学校教員向けやさ日ワークショップ(9月)
- 高校生やさしい日本語チャレンジ(9月)?
- 海外合宿 (9月)?
- 高校生プレゼンコンテスト(10月)?
- 東京都プレゼンコンテスト出場?
- なかの多文化共生フォーラム(12月)
- 動画制作?

卒業生の進路

- 企業(人材、航空、旅行、銀行、保険、証券、IT、広告、食品、物流、コンサル...)
- 地方公務員(中野区、新宿区、大田区、川崎市、神奈川県、千葉県)
- 外務省専門職員

第17期入室試験

- 志望理由書
- 一次選考: 志望理由書をもとに実施
- 二次選考(4月5日): 個人面接(5-8分)
- 学部や山脇ゼミ、山脇研究室のSNSとHPで2025年度の活動をチェックし、自分が何をやりたいか考えておくこと。